

担当区	区	担当係	係	名前
-----	---	-----	---	----



北九州マラソン2024

ボランティアマニュアル

コース活動内容 コース整理係

2024年2月18日(日)

お問い合わせ

ご不明な点は、下記のボランティアデスクにご遠慮なくお問い合わせください。

ボランティアデスク

受付時間／9:00～17:00(土・日・祝日除く)

093-531-2573

●集合場所のお問い合わせは、2月16日(金)までにお済ませください。

●大会直前のお問い合わせは、

2月16日(金)9:00～20:00／17日(土)7:00～20:00／18日(日)5:00～9:00



ボランティアマニュアルや動画が
スマホからも確認できます。

活動上諸注意

1 当日の欠席、遅刻の連絡先

- ①やむをえない事情で当日に欠席、遅刻する場合は、北九州マラソンボランティアデスクに必ず連絡してください。
また、事前にお分かりの場合も必ずボランティアデスクに連絡してください。
- ②欠席の場合、配布した「ボランティア支給物品」は返却してください。その際の送料は自己負担です。
- ③原則として、活動中の早退、途中参加はできません。

北九州マラソン
ボランティアデスク

☎ 093-531-2573

- 受付時間／9:00～17:00(土日祝除く)
- 前々日／9:00～20:00
- 前日／7:00～20:00
- 当日／5:00～9:00
- 開設期間／2024年2月29日(木)まで

2 活動場所への移動

- ・原則として、集合場所までは「公共交通機関、徒歩など」で移動してください。(駐車場はありません)
- ・移動に関する交通費やその他の報酬などは支給されません。

3 服装識別

- ①今年からボランティアウェアの着用ルールが変わります。
- ②キャップの配布はありません。ポンチョを配布いたします。
- ③過去に配布されたボランティアウェアをお持ちの方は、ポンチョの代わりに着用いただいても構いません。
- ④屋内で活動される一部の方には、当日ボランティアビブスを貸与しますのでそちらを着用してください。
- ※以下ボランティアウェア・ポンチョ・ビブスすべてを「ボランティアウェア」と表記します。

担当	帽子	ウェア	ビブス
市職員	白	オレンジ	室内のみ オレンジ
ボランティアリーダー	—	黄	オレンジ
ボランティア(屋外)	—	黄	—
ボランティア(屋内)	—	—	黄

担当	帽子	ウェア	ビブス
救護	赤	赤	白
AED隊	赤	赤	—
AEDサポート隊	赤	—	赤
審判員	紺	紺または黒	—

4 当日持ってくるもの

- ☐ボランティアマニュアル(この冊子) ☐ボランティアウェア ☐スタッフパス
- ☐時計(時刻が確認できるもの) ☐防寒具(カイロなど) ☐携帯電話、スマートフォン(お持ちの場合)
- ☐雨具(レインコートなど) ☐筆記用具

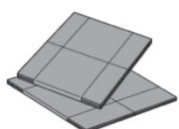
5 個人の貴重品、荷物など

- ①ボランティアの荷物置き場、預かり場所はありません。
- ②ウエストポーチやリュックなど必ずご自分の身に着けられるもので自己管理してください。
- ③貴重品や荷物の盗難、紛失に関して主催者側は一切責任を負いません。

6 ゴミの分別について

①段ボール

- 段ボール



②ペットボトル

- ペットボトルとキャップ



キャップは外して一緒にゴミ袋に入れる。ラベルはそのまま。

③その他

- 紙コップ



- 紙コップ以外の燃えるゴミ



- 燃えないゴミ



基本情報

1 押さえておきたいポイント

●団体・グループ・ファミリーの代表者は、必ず活動日までに以下の事項をメンバーへお伝えください。

①集合時間・場所を確認

スタッフパスとマニュアルにご自身で記入してください。

②活動内容を確認

自分の担当係(活動場所)と位置(目印や〇〇km 付近)を必ず確認してください。

③当日は、必ずボランティアウェア(黄)を着用(スタッフパスは貼付)

マニュアルを持参することも忘れないように。

④みなさまのリーダーは『北九州市職員』『ボランティアリーダー』

当日は、市職員・ボランティアリーダーの指示により活動を行ってください。状況によっては、警察官・警備員・審判員の指示に従ってください。

市職員による出席確認・活動内容の説明・配置場所・備品の確認を行った後、活動を開始してください。

⑤傷病者対応に困ったら、スタッフパスの表面に記載の『救護本部』に連絡!!

意識がない方を見つけたら、迷わず119番に通報してください!!

あわてずに、落ち着いて対応すること。何よりもまず命が最優先です。緊急時は迷わず通報してください。

2 北九州マラソンに関わるみなさまへ

ボランティアのみなさまには、市内はもちろん全国から参加する1万2千人を超えるランナーが安全・安心に大会を楽しめるよう、運営をサポートしていただきます。活動にあたって、下記をお願いがございます。

心得①『とにかく安全第一!!』

ランナー、ボランティア、応援の方、大会関係者、通行する人や車、近隣にお住いの方や事業所のみなさまなど、すべての方にとって安全に大会を運営できるよう、それぞれの場所にご留意をいただきながら活動をお願いします。

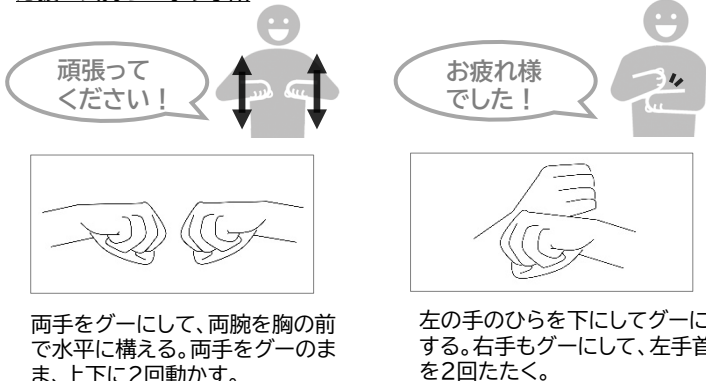
心得②

『ボランティアの笑顔なくしてランナーの笑顔なし!!』

「がんばっとる人を見たら、ほっとけんちゃね!」とキタキュー人の熱〜い気質で、良い意味でのお節介(=おもてなし)をお願いします。みなさまの温かい心づかいと笑顔のおもてなしは、きっとランナーの心に残ることでしょう。

外国人や障害のある方も参加しています。筆談・手話など特性に応じたコミュニケーションをとる、要補助者用更衣室(スタート会場・フィニッシュ会場のみ)の場所を案内できるようにしておくなど、すべてのランナーにサポート・応援の気持ちを示しましょう。

応援の気持ちを示す手話



心得③

『マナーアップでみんなニッコリ!!』

すべての方にとって、気持ちの良い大会になるよう、マナーアップにご協力ください。

- ①ボランティア活動場所への移動には、公共交通機関を利用しましょう。
- ②ごみ拾いにご協力をお願いします。
- ③長時間にわたる場所は交替で休憩をとるなど、助け合いながら活動しましょう。
- ④ボランティア用のウェアは目印です。一番上(コートなどの上)に着用してください。また、休憩中はウェアを脱いでください。

コースマップ



収容関門

記号	場所	距離	閉鎖時刻	記号	場所	距離	閉鎖時刻
3km	門司港	3.1km	9:40	25km	門司港北交差点	25.5km	12:43
8km	門司港	7.5km	10:16	29km	門司港北交差点	28.8km	13:10
11km	門司港	11.3km	10:47	32km	門司港北交差点	32.0km	13:36
15km	門司港	15.3km	11:20	36km	門司港北交差点	35.8km	14:07
20km	門司港	20.3km	12:00	40km	門司港北交差点	39.9km	14:41

エイドステーション

記号	場所	距離	記号	場所	距離
5km	三條交差点	5.0km	25km	門司港北交差点	25.4km
8km	いのちのたび博物館	7.5km	27km	門司港北交差点	27.2km
10km	九州大規模災害入口交差点	10.0km	30km	門司港北交差点	30.4km
13km	新地丁目交差点	12.6km	30km	門司港北交差点	30.4km
15km	真境山交差点	15.5km	35km	門司港北交差点	35.3km
18km	門司港北交差点	17.9km	38km	門司港北交差点	38.7km
20km	門司港北交差点	20.4km	40km	門司港北交差点	39.8km
23km	門司港北交差点	23.0km			

コース上のエイドステーションは、様々な企業が運営を行い、ランナーの皆様にサポートします。

コース整理係

1 業務概要

①集合 ※集合時間等はP.14参照

①担当区の市職員、ボランティアと顔合わせをする。

②資材の設置 ※資材の場所等はP.30以降のコース図参照

- ①区長の指示のもと、警備員と連携しコーンの設置を行う。※迅速な設置が必要なため業務の垣根を超えた協力をしあう。
- ②交通規制前に配置場所の近くの路肩などにあらかじめコーンを準備しておく。
- ③道幅や歩道が狭い場所などは、車の走行、歩行者の通行の妨げとならないよう十分注意。
- ④トイレ看板・距離看板を指定された位置に移動して準備。

③レース中の活動(担当別)

※ランナーの(折返し、右左折、走路変更等)誘導は審判員が行う。



コース整理

- ①観客や一般の歩行者、車両等がコースへ侵入しないよう(ランナーを妨害しないよう)注視する。
- ②侵入者や侵入しそうな者がいた場合、コースに出ないように注意、呼びかけを行う。
- ③異常のあるランナーがいないか注視する。
傷病者を発見した場合、当マニュアルの裏表紙「傷病者対応」を参照し、冷静に対応する。
- ④ランナーが走行中に出すゴミを随時拾う(または受け取る)。
- ⑤救急車や消防車などの緊急車両がコースに進入や通行する際は、「緊急車両交差点係」が交通整理業務を補助する。(ランナーに停止を呼びかける、コーンを移動する等)(詳細はP.22参照)
- ⑥交通規制中の道路の横断については区長の指示に従う。(詳細はP.18参照)



距離表示

- ①距離表示看板をランナーに向けて掲示し、距離地点を示す。
- ②掲示するのは1～42kmの1km毎、中間点、フィニッシュまでの残り5～1kmの地点。
- ③強風が予想されるエリアには、掲示を補助する差し込み式ベース板を用意している。
ただし、あくまで補助するためのものなので、必ずそばにいないようにする。(写真A参照)
- ④距離表示看板の位置は、コース路上にある「距離表示シール」を確認。
残り5kmから1km間隔に、白色または黄色ペンキで表示されており、その場所に立つ。(写真B参照)
- ⑤最後尾ランナーが通過後、現場を離れる際は距離表示シールをはがして処分する。



写真A



写真B



注意!

距離表示看板は、ランナーが自分のペースを作るためにとても重要なものなので、障害物や観客でランナーに見えないことがないように十分注意すること。



トイレ案内

- ①ランナーが来る前までに、トイレに異常がないか、トイレトーパーが設置されているかの確認をする。
(設置場所はP.16参照)
- ②トイレ入口にロープがかかっていたら、ロープを解く。
- ③ランナーへ仮設トイレの案内を行う。
トイレ前にランナーの列ができた場合は、歩行者の通行やランナーの走行の妨げにならないように整理誘導を行う。
- ④風の強い場所ではトイレ看板(立て看板)の近くに立ち、転倒しないよう気をつける。
- ⑤必要に応じてトイレトーパーの補充や掃除を行う。
- ⑥掃除道具は左右どちらか端のトイレの中に設置している。トイレトーパーの予備は各トイレ上部に設置している。トイレトーパーがなくなったら、救護所の予備トイレトーパーを使う。



注意!

- ①一般の歩行者や観客とランナーが接触しないように声を出しながら誘導を行うこと。
(例:「ランナーが通りますのでご注意ください!」)
- ②トイレ前で、「トイレはこちらです!」など声掛けをするとともに、ランナーの通路確保をする。
- ③長い列ができた場合は、1km～2km先にも仮設トイレがある旨を伝える。(P.16参照)
- ④長時間トイレから出てこないランナーには、ドアをノックし「大丈夫ですか?」と声をかける。反応がない場合、区長を呼びカギをあける。区長が付近にいない場合は救護本部に連絡する。(救護本部の連絡先はスタッフパスに記載)
- ⑤トイレを利用したランナーがコースに戻る際は、コースアウトした場所に戻ってレースを続行するよう案内する。
- ⑥トイレ利用後にコースをショートカットすることがないように。(特に10区三条橋手前の橋付近トイレは注意!)
- ⑦ランナー最後尾の収容監察車・収容バスが近づいてきたら、トイレの中にいるランナーに声かけする。
(例:「収容バスが近づいているのでもうすぐ関門閉鎖になります!」)

コース整理係

③レース中の活動(担当別)

※ランナーの(折返し、右左折、走路変更等)誘導は審判員が行う。



う回路案内

- ①侵入してきた車の運転手や歩行者などにう回路を案内する。
- ②事前に渡される「交通規制マップ(チラシ)」と「う回路案内マップ(A3ラミネート加工)」を示しながら案内。
- ③自身の活動従事場所を「う回路案内マップ」と照らし合わせ現在地を把握しておく。



- ④急病者を自家用車で病院に搬送中の場合は、最寄りの緊急車両交差点を案内し、区長(市職員)から警備本部に連絡してもらう。



●交通規制中の道路横断について

- ①コース前半はランナーが密集しているので横断は基本的に禁止。
- ②コース後半も横断は基本的に禁止だがランナーが分散しているため、区長がやむを得ないと判断した際は、状況を見ながら横断させる。
※横断の際は横断歩道を横断させること。
※ランナーとの接触に十分注意して横断させる。(往復両方のランナーがいるエリアは特に注意する)

●棄権者について

- ①レースの棄権を申し出たランナーがいた場合は、最寄りの収容関門(P.23参照)で収容バスに乗車し、フィニッシュ会場に向かうよう案内する。

体調に問題がない場合	①前方の収容関門までコースの端を自力で歩いてもらう。 ②収容関門を過ぎてすぐに棄権し、後方に向かう場合は必ず歩道を利用してもらう。 ③駅付近などで棄権したランナーが、公共交通機関等を利用してフィニッシュ会場まで向かいたいという場合は、ランナーの判断に任せる。
歩けない、体調が悪い場合	「大丈夫ですか?」と声をかけ、様子を確認後、下記の対応を行う。 ①大丈夫な場合 →最後尾ランナーの後を走る収容バス(「最後尾」表示あり)を待ってもらう。 ②緊急を要する場合 →周囲の救護スタッフ(赤スタッフジャンパー、または赤ビブスを着用)、市職員(オレンジウェアを着用)に伝え、様子を見てもらう。 →救護本部に連絡(連絡先はスタッフバス参照)し、指示を仰ぐ。 ③特に緊急を要する場合(意識がない場合など) →119番通報する。通報後に救護本部にも連絡する。



G門司ブロックとH門司港ブロックは、棄権者の低体温症防止のため、収容バス到着まで一時待機する場所として車両(「収容者一時待機車」と呼ぶ)を用意しているので、必要に応じてランナーに案内する。
ランナーは誰でも利用できるが、車両を利用した時点で棄権となることを説明する。
(収容者一時待機車は、57区A、60区の2カ所に配置。駐車場所の詳細は P.30以降コース図を参照)

④最後尾ランナー通過後

- ①区長の指示のもと、警備員と連携し、速やかにコース上の全ての設置物の撤去を行う。(コーンの撤去は次ページ参照)
※迅速な撤去が必要なため業務の垣根を超えた協力をしあう。
- ②交通規制は予定より早く解除される場合があるので、車両の通行など安全に配慮して作業すること。
- ③コース周辺のゴミ拾いを行い、ゴミは集合・休憩場所が最寄りのエイドステーションへ持って行く。
- ④資材は元の資材置場へ戻す。

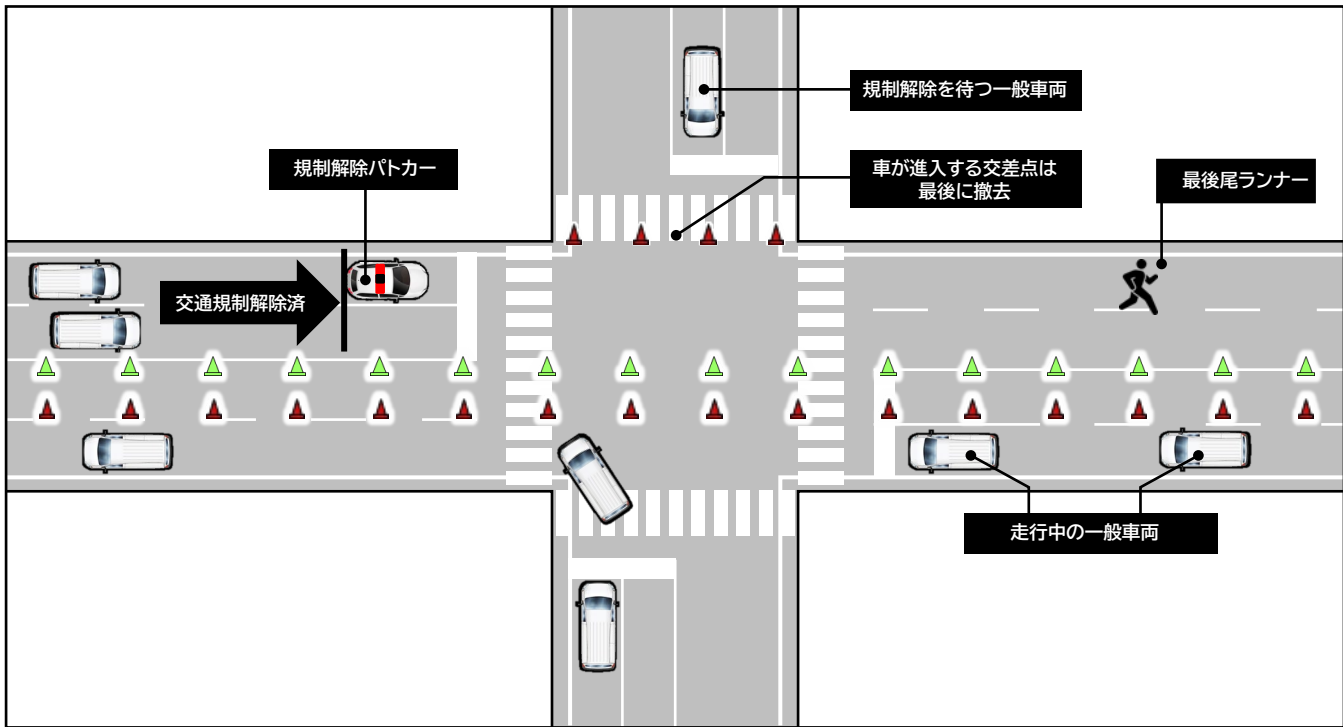
⑤活動終了、解散

- ①区長が指定した再集合場所に集合し、挨拶をして解散する。

コース整理係

2 最後尾ランナー通過後 コーン撤去の流れ

例／ランナー片側通行の場合 ＜反対車線に一般車両が走行している走路の場合＞



- ①最後尾ランナー通過前に警備員と撤去の段取りを打合せすること。
- ②区長の指示のもと、警備員と連携し、コーン撤去を始めること。
- ③交差点のコーンを先に撤去してしまうと一般車両が入ってきて、コースの撤収作業に危険が及ぶため、最後尾ランナー通過後、交差点を塞ぐコーン以外のものから撤去する。
- ④規制解除パトカーが通過すると規制解除となり、一般車両が道路上を走るため、資材の撤去作業は規制解除前に行う。
- ⑤最後尾ランナー通過と規制解除パトカーが来るまでの間に、時間がある場合は交差点のコーンを一部撤去する。
1車線につき1つは残しておく。規制解除パトカーが近づいたら、残りのコーンも撤去する。
- ⑥迅速な撤去が必要なため業務の垣根を超えた協力をしあう。

注意事項



- ①13区C(高見中央ブロック)～16区B(東田枝光ブロック)
規制解除パトカーが通っても、区長の指示があるまでコーン等の撤去は行わない。
規制解除パトカーが戸畑バイパス下からいのちのたび博物館方向に向かい、再び戸畑バイパス下に戻って当該エリアの規制解除となる。
警備員が無線等のやりとりで規制解除パトカーの位置を把握し、撤去のタイミングを判断する。
※13区Cは規制解除パトカーが通過後、コーンを並べ替え一部車両が通れるようにする。
- ②19区A(東田枝光ブロック)～25区B(戸畑ブロック)
コーン等資材の設置・撤去は警備員が行う。
- ③往復路のある区(浅野・赤坂ブロック43区A～門司港ブロック64区C)
往復路のある区は、復路で規制解除パトカーが通過したら規制解除となる。
※往路を規制解除パトカーが通過後、コーンを並べ替え往路のみ車両を通行させることがある。
(地元対策のため)